

全老健第 28-44 号
平成 28 年 5 月 9 日

会員各位

公益社団法人全国老人保健施設協会
会 長 東 憲 太 郎
(公印省略)
全老健『平成 28 年熊本地震』対策本部
本 部 長 本 間 達 也

「平成 28 年熊本地震」被災地へのボランティア職員派遣について(ご連絡)

標題につきましては、全老健第 28-37 号(平成 28 年 4 月 27 日付)において、ご協力をお願いをさせて頂いたところでございます。

当該職員派遣につきましては、当初、被災地である熊本県内の派遣先や派遣元の老健施設が所属する都道府県および関係団体等を通じて調整を行っておりましたが、この度、厚生労働省との打合せの結果、スピーディーで円滑なマッチングを行うため、別添のように全老健独自のマッチングの流れに組み替えることとなりましたので、ご報告申し上げます。

既に全老健では、このマッチングをプロジェクト B(職員の派遣)と位置付け、被災地である熊本県の隣県の職員を中心に派遣を開始しております。

この全老健のプロジェクト B(職員の派遣)につきましては、派遣元の職員のボランティア(手弁当)を原則としておりますが、派遣期間の傷害保険(死亡・後遺障害 3,000 万円、入院 6,000 円/日、通院 4,000 円/日)につきましては、全老健で加入するとともに、派遣に係る旅費及び宿泊費(実費)については、災害救助費から支弁されるようになっております。

今後、被災地のニーズによっては、より多くの都道府県の老健施設に派遣をお願いすることも考えられます。その際には、全老健よりあらためて派遣職員の登録をご依頼することとなりますので、会員施設各位のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

以上

派遣先の施設によっては、宿泊等の手配が出来ない場合もございます。その場合、ご自身での手配をお願いする可能性もありますので、あらかじめご了承ください承頂きますようお願い申し上げます。

(別紙)

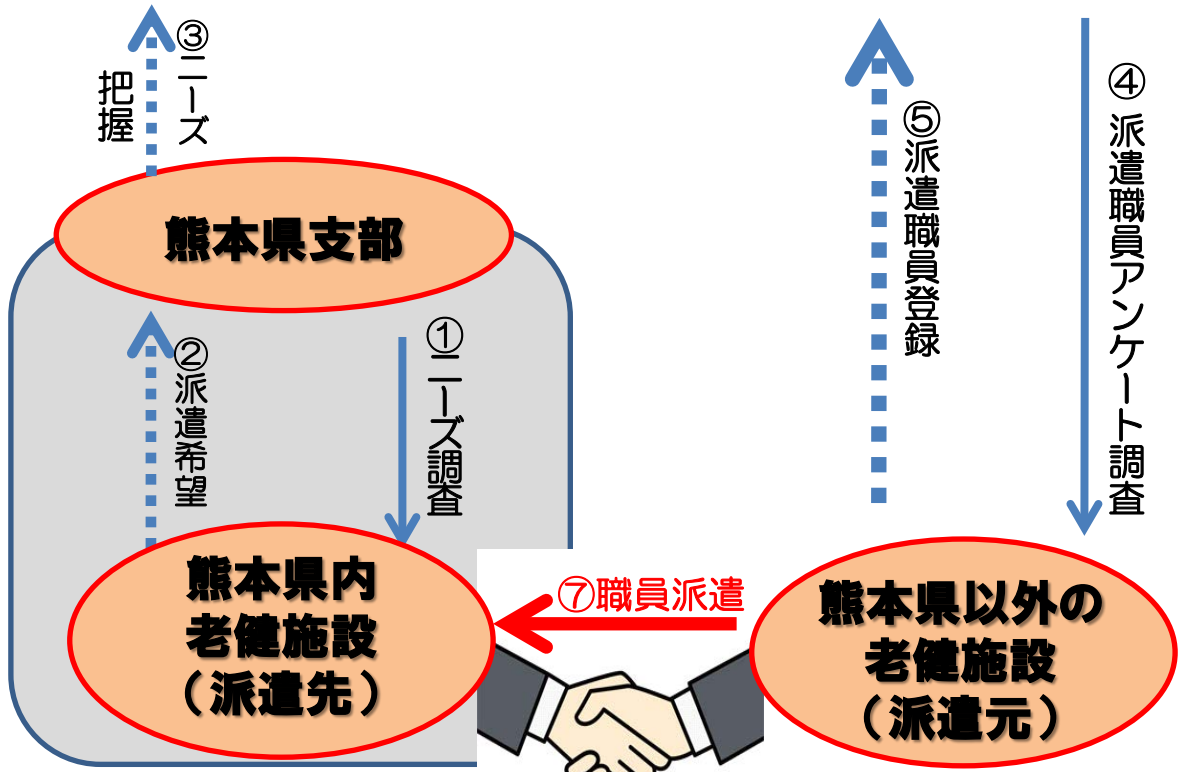
プロジェクトB: ボランティア職員派遣

(イメージ)

厚生労働省

公益社団法人全国老人保健施設協会
⑥ ニーズと派遣登録者のマッチング作業

マッチング実績報告



※旅費のみ国より支給予定

※現在は九州地区(熊本・大分除く)を中心に派遣登録